LINE登録特典

コードネームを見ただけで押さえ方がわかる方法

コード表を毎回さがす練習から、
「型」と「場所」で考える練習へ。
この度はLINE登録ありがとうございます。
この教材は、ギター初心者が「なるほど、そういう仕組みか」と分かるための、
やさしいスタートガイドです。

このPDFで分かること

- コードを丸暗記しなくていい理由
- コードネームから押さえ方を考える流れ
- まず覚えるべき6弦・5弦の音名
- よく使う代表フォーム14種類

こんな人向け

- コードは少し押さえられる初心者
- Fコードは押さえられる、または挑戦中
- TAB譜は読めるけど理論はまだ苦手
- コード表を毎回探している

今まで
コード名を見るたびに
コード表を探す

→

これから
音名と形を考える

→

ゴール
自分で押さえ方を導く

大事なのは完璧に覚えることではありません。
読み終わったときに「意外と簡単だった」「これなら自分にもできそう」と思えたら大成功です。

© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

① コードの導き方（概要）

コードを作る２つの要素

コードは、大きく分けると**２つの要素**から成り立っています。
その**２つ**とは、



・ルート音(土台となる音)
・どんな響き(形、構成音)か

具体例

Am なら？

・ルート音は「A」音(ラ)です。
・「○m」マイナーコード、暗い響きです。

D7 なら？

・ルート音は「D」音(レ)です。
・「○7」セブンスコードです。

F# なら？

・ルート音は「F#」音(ファ#)です。
・「○」メジャーコード、明るい響きです。

このように必ず２つの情報が含まれています。
しかし「F#」のように、**メジャーコードはルート音のみを表記**します。
このときの正式な読み方は、「F#メジャー」です。

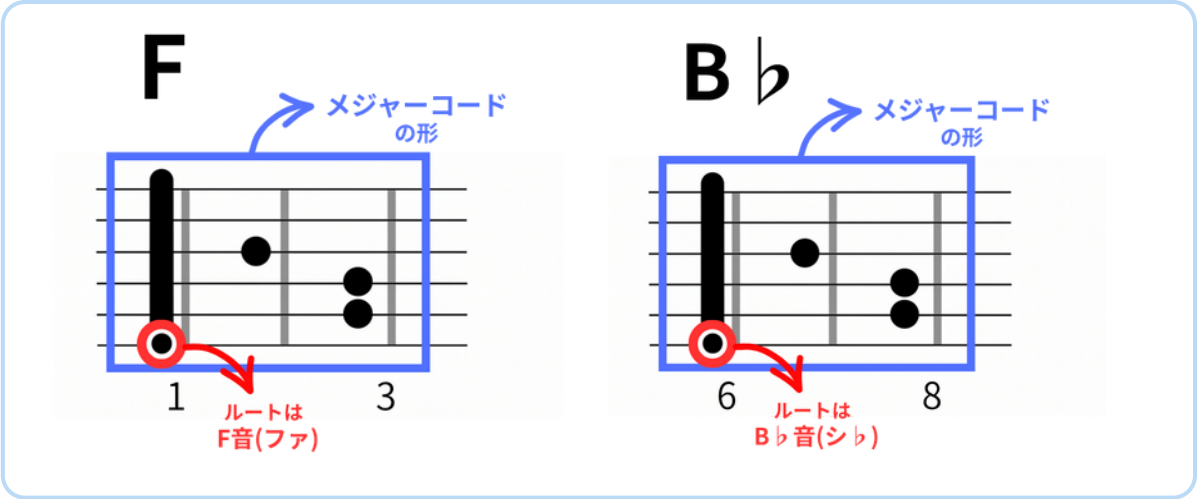
© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

② コードの導き方（概要）

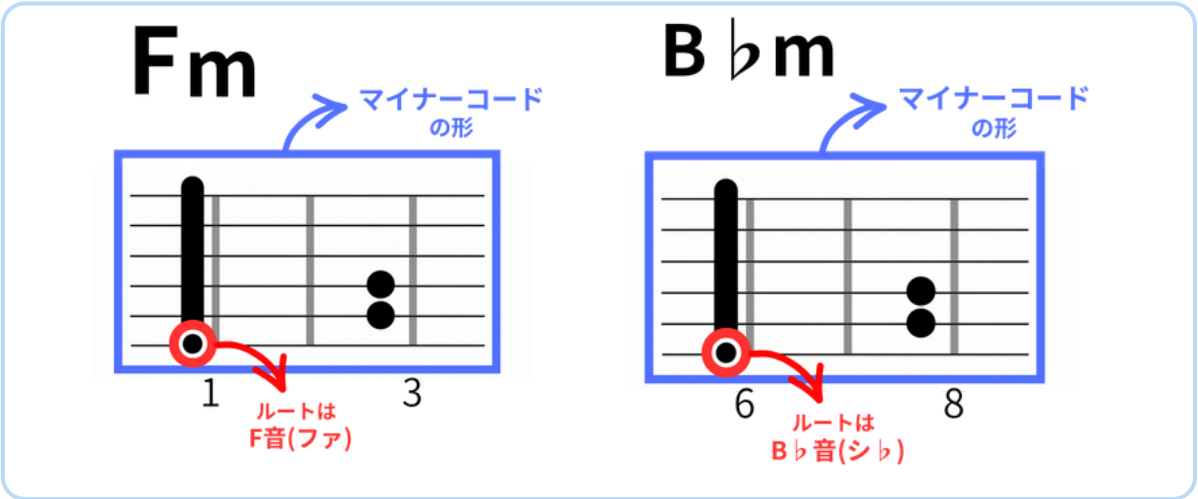
コードごとに形は決まっている

ギターの場合、メジャー、マイナー、セブンス、と**コードごとに形は決まっています**。
例えば、

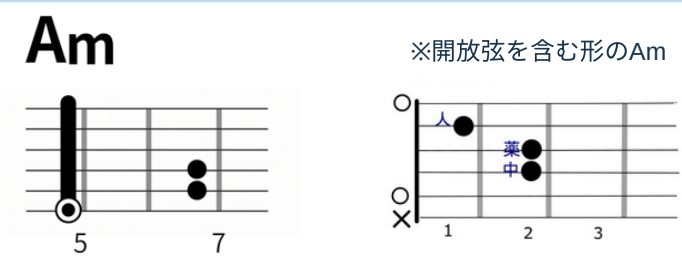
メジャーコードなら、、、



マイナーコードなら、、、



補足(今まで押さえてきたAmは、、、？)



「Am」といっても色んな押さえ方があります。開放弦を含む形もあれば上のようにセーハ型も含め、形は複数です。
開放弦を含む形は押さえ方が簡単という反面、横にずらすことが出来ません。
よってこれらの開放弦を含む形は、今回説明する方法には使えません。

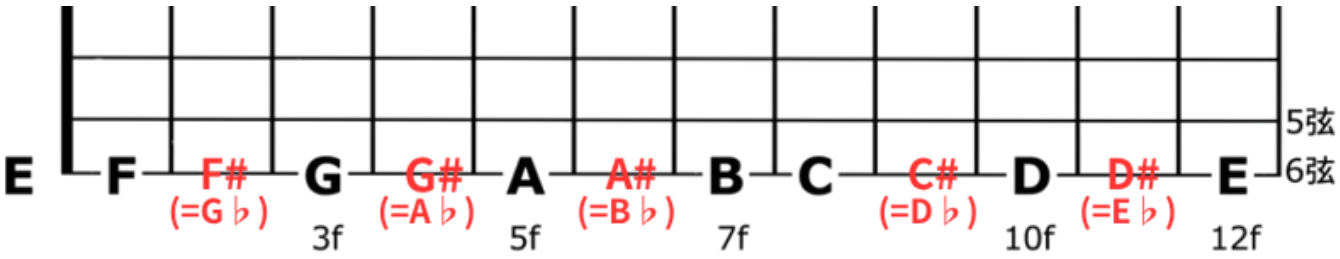
© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

③ 6弦ルートの音名を覚えよう

6弦の音名

「ルート音となる音名」と「コードごとの形」この２つの知識を持っていれば、コードネームからコードを押さえることが出来るようになります。
ここでは「ルート音となる、6弦の音名」を紹介します。
※５弦の音がルート音になる場合もあります。５弦の音名は別ページにて紹介します。

6弦の音名



※E～F(ミ～ファ)間&B～C(シ～ド)間が半音(1フレット)です。
それ以外は全音(2フレット)と覚えましょう。

※「ドレミと英語音名が一致しない、、」「半音上って#だっけ、♭だっけ？」という人は今回を機にしっかり覚えましょう！

英語	C	D	E	F	G	A	B
伊語	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ

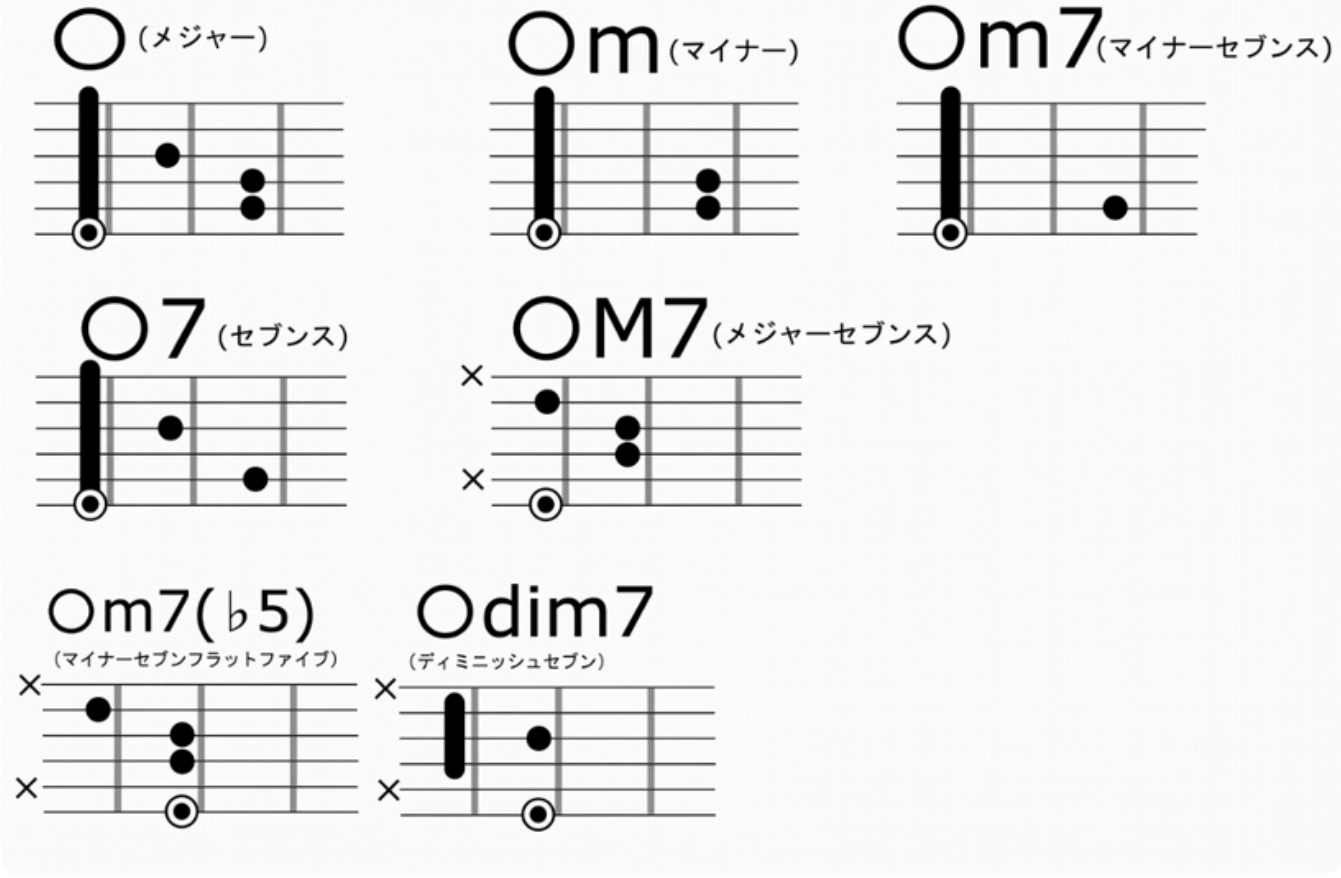
© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

④ 6弦のコード型を覚えよう

6弦ルートの型

６弦ルートの代表的なコードの形7種類です。
コードネームの「〇」にルート音名が入ります。
ダイアグラム内の二重丸がルート音を表しています。

ここにある形はすべて、**ルートが６弦上にくる場合の形**です。
ルートが５弦上にくる場合の形は別ページで紹介します。



代表フォーム7種類

○（メジャー）/○m（マイナー） / ○m7 / ○7 / ○M7 / ○m7(♭5) / ○dim7

明るい = メジャー　暗い = マイナー

少し大人っぽい = 7 / M7 / m7

不穏な感じ = m7(♭5) / dim7

ここでの見方

- コードネームの「〇」にルート音名が入ります。
- 二重丸 = ルート音（ベースとなる音）の位置

今は細かく暗記しなくてOK。
「6弦ルートにはこういう型がある」と全体像をつかめば十分です。

© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

⑤ コードを導いてみよう

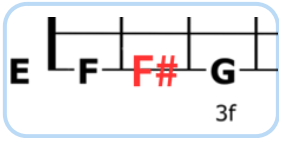
コードネームから押さえ方を導く方法：６弦ルート編

コードネームから押さえ方を導くのは以下のSTEPの通りです。
必ず「このコードのルート音はどこか？」を**最初に考えるようにして**ください。
ルート音が６弦か５弦かで、形が変わるからです。

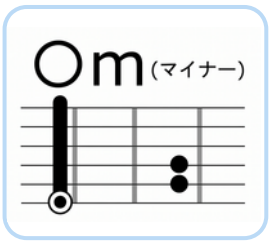
F#m の作り方

STEP 1
F#mのルート音は何？
↓
F# がルート音です。
(間違えやすいが、Fではないので注意。)

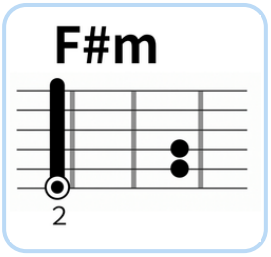
STEP 2
６弦または５弦の中からF#を見つける。
↓
6弦2フレットがF#。



STEP 3
「○m」(マイナーコード)の形を6弦型一覧から探す。



STEP 4
二重丸部分を６弦２Fにして形を押さえると、
「F#m」完成

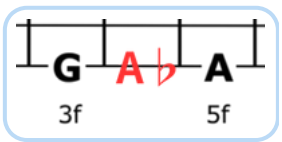


考える順番は必ず、**ルート音** → **形** です。

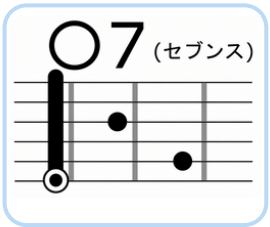
A♭7の作り方

STEP 1
A♭7のルート音は何？
↓
A♭がルート音です。
(間違えやすいが、Aではないので注意。)

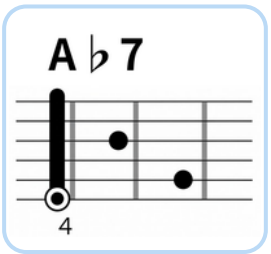
STEP 2
６弦または５弦の中からA♭を見つける。
↓
6弦４フレットがA♭。



STEP 3
「○7」(セブンスコード)の形を6弦型一覧から探す。



STEP 4
二重丸部分を６弦４Fにして形を押さえると、
「A♭7」完成



考える順番は必ず、ルート音 → 形 です。

© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

⑥ 練習問題

６弦の練習問題

以下５つのコードを押さえてください。
すべて６弦ルートのコードとします。

問題１：Fm

問題２：Gm7

問題３：A♭

問題４：AM7

問題５：F#m7(♭5)

考え方の順番

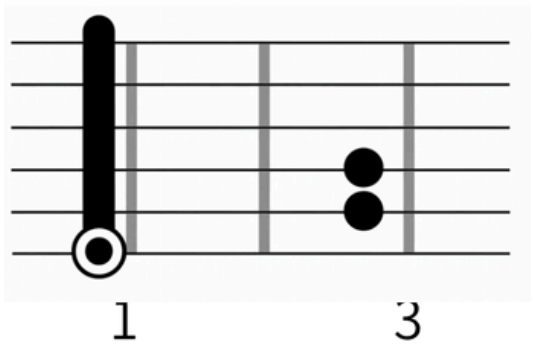
ルートは何？ → そのルートは何弦・何フレット？ → 6弦型？5弦型？どんな形？

© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

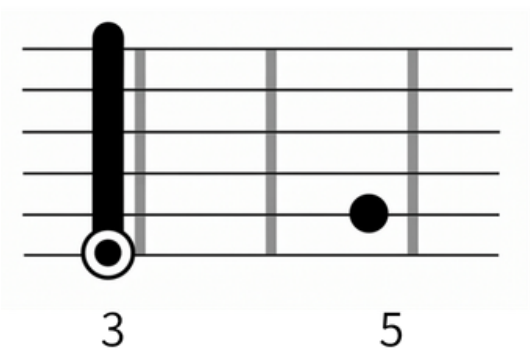
⑦ 6弦解答

６弦の練習問題の解答

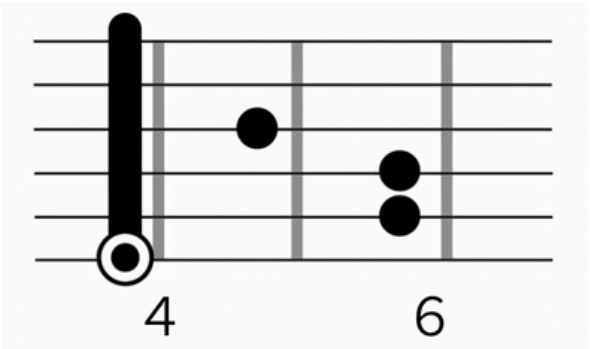
問題１：Fm



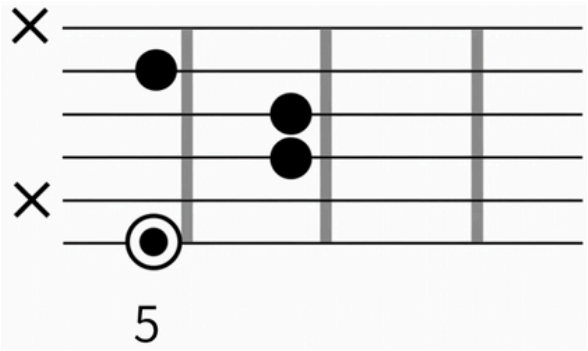
問題２：Gm7



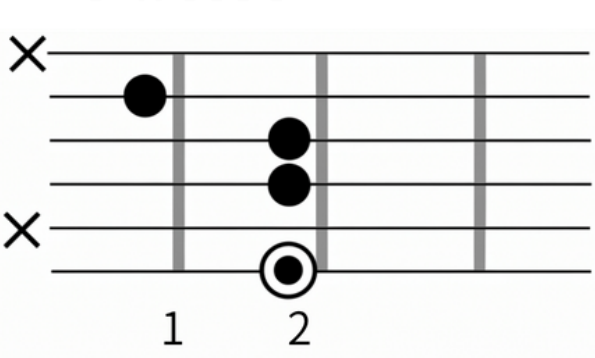
問題３：A♭



問題４：AM7



問題５：F#m7(♭5)



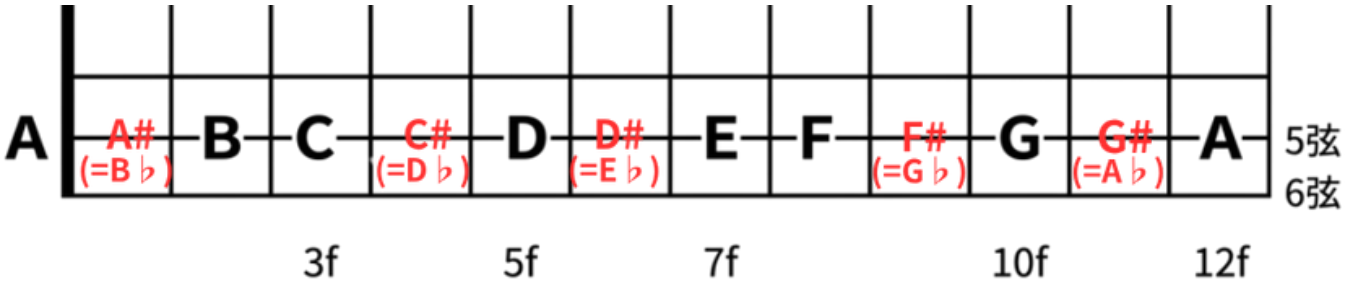
© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

⑧ 5弦ルートの音名を覚えよう

5弦の音名

「ルート音となる音名」と「コードごとの形」この２つの知識を持っていれば、コードネームからコードを押さえることが出来るようになります。
ここでは「ルート音となる、５弦の音名」を紹介します。

5弦の音名



※E～F(ミ～ファ)間&B～C(シ～ド)間が半音(1フレット)です。
それ以外は全音(2フレット)と覚えましょう。

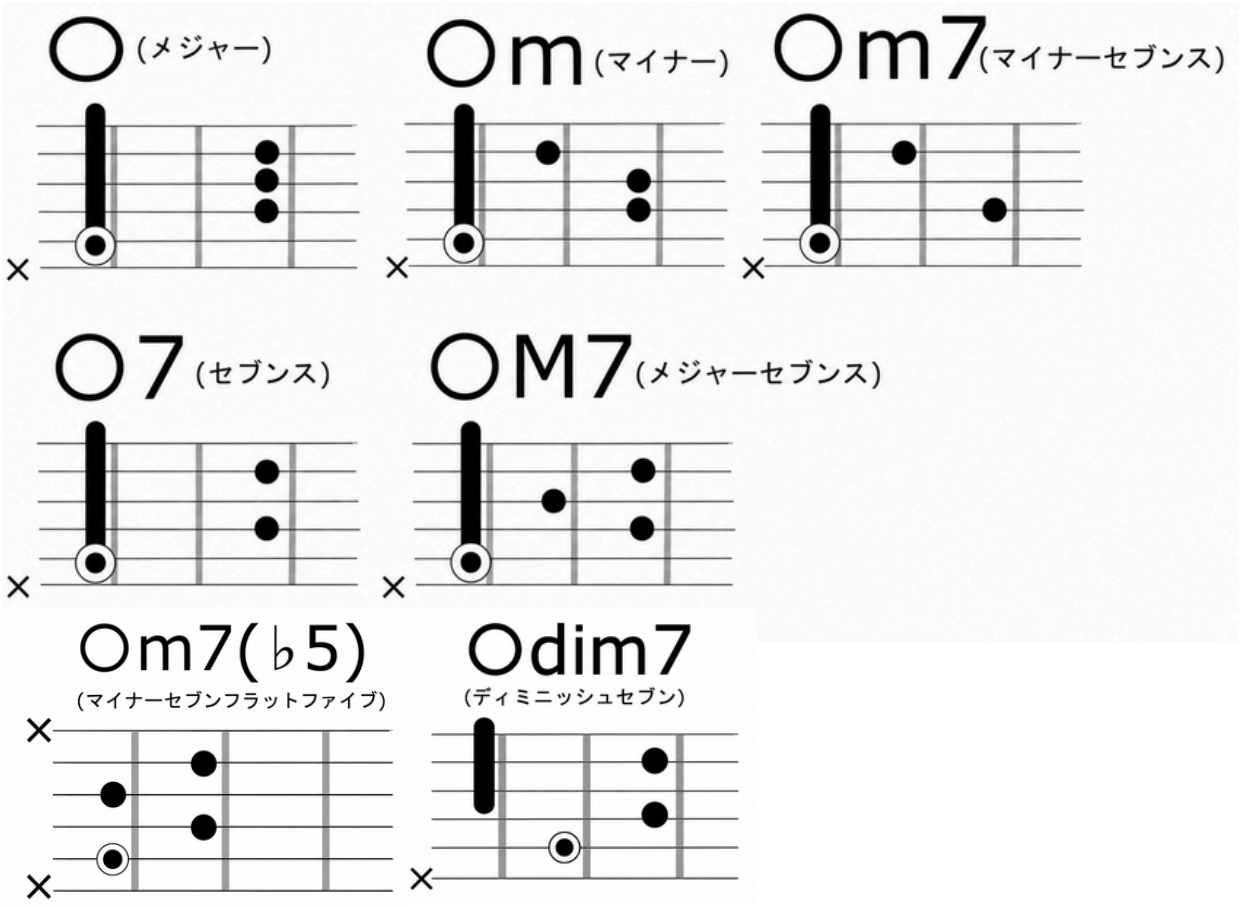
© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

⑨ 5弦のコード型を覚えよう

5弦ルートの型

５弦ルートの代表的なコードの形7種類です。
コードネームの「〇」にルート音名が入ります。
ダイアグラム内の二重丸がルート音になります。

ここにある形はすべて、**ルートが５弦上にくる場合の形**になります。



代表フォーム7種類

○（メジャー）/○m（マイナー） / ○m7 / ○7 / ○M7 / ○m7(♭5) / ○dim7

明るい = メジャー　暗い = マイナー

少し大人っぽい = 7 / M7 / m7

不穏な感じ = m7(♭5) / dim7

ここでの見方

- コードネームの「〇」にルート音名が入ります。
- 二重丸 = ルート音（ベースとなる音）の位置

今は細かく暗記しなくてOK。
「5弦ルートにはこういう型がある」と全体像をつかめば十分です。

© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

⑩ コードを導いてみよう

コードネームから押さえ方を導く方法：５弦ルート編

コードネームから押さえ方を導くのは以下のSTEPの通りです。
必ず「このコードのルート音はどこか？」を**最初に考えるようにして**ください。
ルート音が６弦か５弦かで、形が変わるからです。

C#m7(♭5) の作り方

STEP 1

C#m7(♭5)のルート音は何？

↓

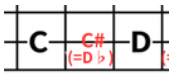
C# がルート音です。

STEP 2

６弦または５弦の中からC#を見つける。

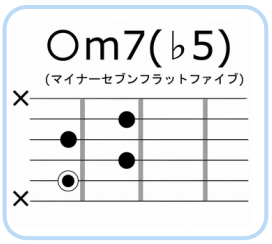
↓

5弦4フレットがC#。



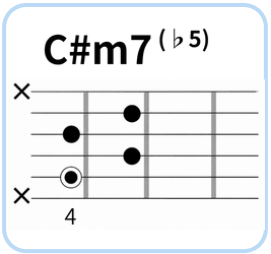
STEP 3

「○m7(♭5)」(マイナーセブンフラットファイブ)の形を5弦型一覧から探す。



STEP 4

二重丸部分を５弦４Fにして形を押さえると、
「C#m7(♭5)」完成



考える順番は必ず、**ルート音** → **形** です。

© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

⑪ 練習問題

５弦の練習問題

以下５つのコードを押さえてください。
すべて５弦ルートのコードとします。

問題１：Cm

問題２：C#m7

問題３：E♭

問題４：B♭M7

問題５：Bm7(♭5)

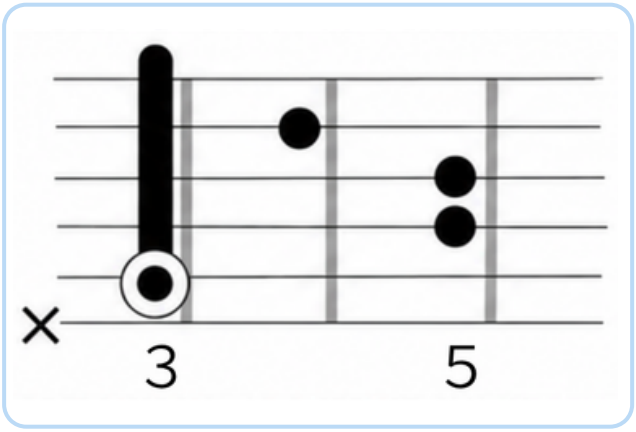
考え方の順番

ルートは何？ → そのルートは何弦・何フレット？ → 6弦型？5弦型？どんな形？

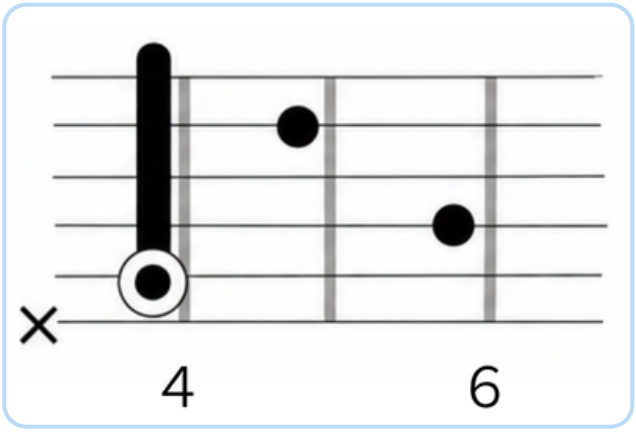
© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

５弦の練習問題の解答

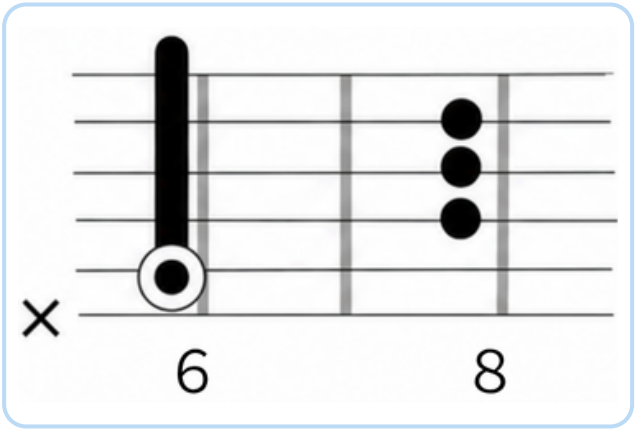
問題１：Cm



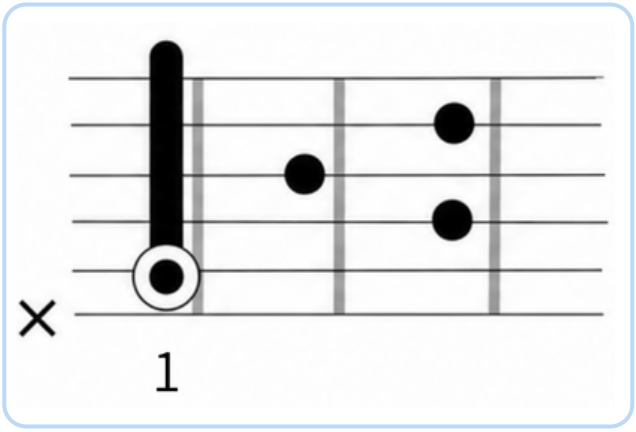
問題２：C#m7



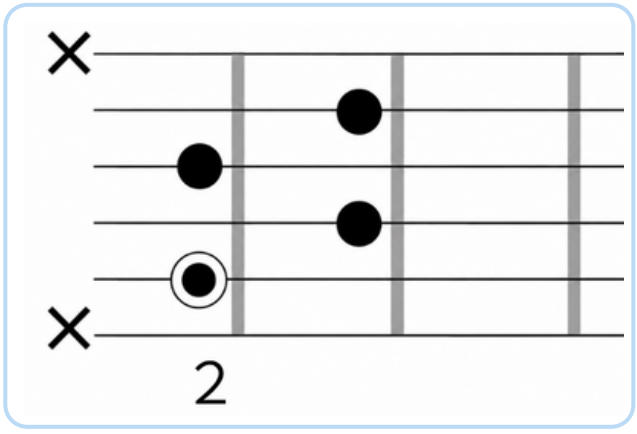
問題３：E♭



問題４：B♭M7



問題５：Bm7(♭5)



© 2026 SATOSHI YANAGISAWA

⑬ 最後に / まとめ

最後に

今日の大事なまとめ

・コードネームを見て「ルート音は何？」が正しくわかるようにしよう。
・「そのルート音は何弦、何フレットか？」を最初に考えよう。
・実際鳴らしてみて、音のイメージ(明るい？暗い？切ない？怖い？)も名前と一緒に覚えよう。

「意外と簡単だった」なら、もう前進しています。

この考え方を覚えると、コード表を見る回数は少しずつ減っていきます。 最初は全部できなくて大丈夫。まずは 初めて見るひとつのコードを、6弦ルートで、自分で導いてみてくださ い。

さらに効率よくマスターしたい人へ

効率的な練習方法は、今後配信される解説動画で詳しく紹介しています。
これからもLINEから最新情報をチェックしてください！

© 2026 SATOSHI YANAGISAWA